

おち町

№144

2023 (R5) 5/1
高知県越知町議会

議会だより OCHI TOWN

きもちが
小学生
3/25(3面参照)



3月定例会

- 2P 豪雪対応～個別ヒアリング実施～
- 8P 今年の事業ピックアップ
学習教材支援金、佐ノ国トンネル修繕工事など
- 18P 医療費助成を18歳まで引き上げなど7人が問う(一般質問)

議会です
こんにちは



Active Woman ⑨

136号から活発な女性を紹介しています。今回は、アイトOkamoto(花卉栽培)岡本かずえさんにお話を伺いました。

こんなになったらいいな

親の経済力にかかわらず、行きたい学校へ行けるようになればいいと思います。
教育にお金が必要ようになれば子育てが楽になるのでは…

雪で大打撃

夫も花もかわいそう!つぶれたハウスの中でも傷まずに残った花に「えらかったね」と一番に言いました。同業者や友人の皆さんからの励ましがすごくあって、なんとか続けていきたいと思っています。

花が好き

夫と共に年間を通じて50品種くらい鉢花を育てています。ふるさと納税の返礼品になってりピーターもいます。



楽しい事

孫と遊ぶのが楽しくて仕方ない!孫に英語を教えたり、一緒に勉強しています。英語が好きで仲良くなったALTの結婚式に出席するためニュージーランドに行きました。珍道中で楽しい思い出の一つです。

議会を傍聴しませんか
3月定例会の傍聴者は延べ9人でした。次の定例会は6月9日開会の予定です。大勢の傍聴をお待ちしています。



編集後記

コロナ禍が峠を越えやっと活気が戻ってきた感があり、間もなく4年ぶりのマスク無しの日常生活が実現可能な気がします。また、ベースアップなどの明るいニュースも飛び込んでくるようになってきました。
何と言っても、WBCで日本が、3度目の世界一に輝いた瞬間は野球ファンならずとも日本国中が歓喜に沸いた瞬間だったと思います。
このままコロナが収束に向かえば、3年間実施できなかった地区懇談会を開催できる日も近いのではないかと考えており、皆様方の声を・思いを町政に反映させ、住民主体の町となるように今後も議会人として努力を続けてまいります。

《小田(範)》

編集・発行責任者	議長 高橋 丈一
議会広報常任委員会	委員長 野久美
	副委員長 下安志
	委員 小田 範博
	委員 上岡 千世子
	委員 小田 壮一

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見を寄せください。

2 豪雪の対応

一般会計予算 前年度比7.7%増

6 45億6871万円

8 今年の事業ピックアップ
学習教材支援金、佐ノ国トンネル修繕工事

10 どう使う新年度予算（議案質疑）
地域おこし協力隊の業務の内容は

14 こんなことが決まったぜよ
農業委員・農地利用最適化
推進委員の報酬増額

18 一般質問7人が問う
医療費助成を18歳まで引き上げなど

26 総務教育委員会レポート
町営住宅の管理状況など

28 産業建設委員会レポート
林道横倉長者線災害復旧工事など

30 追跡! あれはどうなっちゃうが?
農産物加工継続支援補助金

32 議会ですこんにちは
連載: Active Woman⑨

今号の表紙



3月25日に保育園の卒園式が行われ、園児18人が元気に卒園しました。

100年に一度の豪雪

～個別ヒアリングを実施～

豪雪の対応

令和4年12月23日の豪雪対応について、山間地の孤立・被害などは、地区それぞれ個々の対応が必要と思われるため、現地調査及び個別ヒアリング調査を6地区11人に対して行いました。

次ページにつづく

雪が積もった段階で災害

マニュアル化を検討

議会が訪問 地域の声を聞く

堂林地区



- ①ヒアリング人数6人
- ②積雪55cm〜60cm
- ③停電4日間

屋外トイレを利用して
いる人はポータブルトイレを構えていた。区内の雑貨屋の食料品が全部なくなつた。
近所に食べ物や湯たんぽを届けるなど、共助の取り組みができていた。

南ノ川地区

- ①ヒアリング人数1人
- ②積雪(不測)
- ③停電4日間

子どもは、母親の介護があるため、除雪されるまでの4日間、下ノ谷から自宅まで3時間半かけて歩いて通っていた。
緊急時は、移住お試し住宅などの利用ができるようにしてもらいたい。

潰野地区

- ①ヒアリング人数2人
- ②積雪70cm
- ③停電2日間

お米、サトイモなどを炭で炊いた。水道水が凍って水が出ない家庭があり、タンクに水を入れて持って行った。凍らないように少量の水を出しっぱなしにしたかったが、水源の水量が足りないのでできなかった。

上ノ峠地区

- ①ヒアリング人数1人
- ②積雪70cm〜1m
- ③停電5日間

普段は平気だが、今回は心細く、雪かきも苦労した。
屋外トイレまで距離があり危険だったのでポータブルトイレを使用した。

桑敷地区

- ①ヒアリング人数1人
- ②積雪70cm
- ③停電0日間

雪が積もった段階で災害であり、災害対策本部を設置し、非常体制を取ってもらいたい。



堂林地区でのヒアリング

5年3月10日に、全員協議会が開かれ、執行部から豪雪の対応について説明がありました。

道路対応

●12月23日(金)
各集落のメインとなる道路の除雪を町内建設業者に依頼(事前連絡)

●12月24日(土)
町内建設業者に除雪依頼
除雪開始・除雪完了箇所に塩カル散布
町職員(除雪作業)

●12月25日(日)
土佐国道事務所より応援業者が入る
町内建設業者除雪作業
消防団(除雪作業)
町職員(除雪作業)

●12月26日(月)
高吾北建設業協会より応援業者が入る
町内建設業者除雪作業
消防団(除雪作業)
町職員(除雪作業)



除雪作業

●12月27日(火)
応援業者の除雪作業終了
町内建設業者(除雪作業)
消防団(除雪作業)
町職員(除雪作業)

●12月29日(木)
町内建設業者、町職員による商店街の残雪の撤去
費用
除雪費約900万円
塩カル約130万円
(約600袋)

今後の対応

①活動体制の確立

各課と協議し、マニュアル化を検討する。
除雪業務は危険を伴うので、二次災害が起こらないよう、建設業者、消防団員、町職員などの安全確保に努めなければならない。
佐川警察署、高吾北消防署も含めて今後の取り組みを協議していきたい。

④関係機関との協力体制の確立

災害発生時、高吾北消防署や佐川警察署との連携は不可欠になるので、さらに具体的な協議をしていきたい。
全町にわたる災害が発生した場合、自衛隊による救助も考えておく必要がある。
広域避難や具体的な避難対応を検討していきたい。

⑤災害広報

事前の注意喚起や避難などについて、防災行政無線放送による広報を積極的に行う。
住民への停電情報は、四国電力と連携協議していきたい。
自助としての備えや、自主防災組織等による共助活動を推進していく必要がある。

②情報の収集・連絡・通信の確保

電話連絡ができない場合の対応について、各地区の消防団員や自主防災組織等と協議していく必要がある。
今後の大雪に備え、台風接近時から、街中や地区の中心地等へ、事前に積極的に避難ができる環境を整備していく。

③道路の復旧順位を明確

災害時の町道の復旧優先順位を明確にする。

議会として、豪雪の対応について、引き続き調査協議を進め、政策提言を含め協議をしていきます。

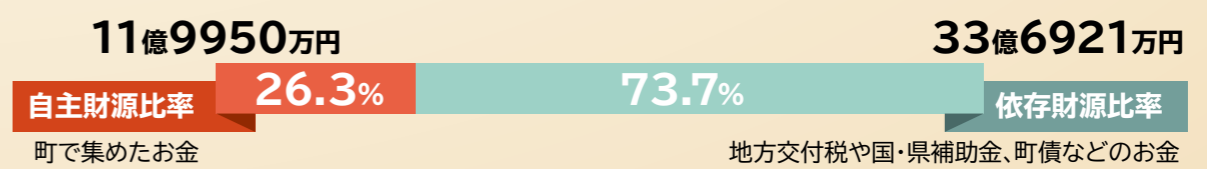
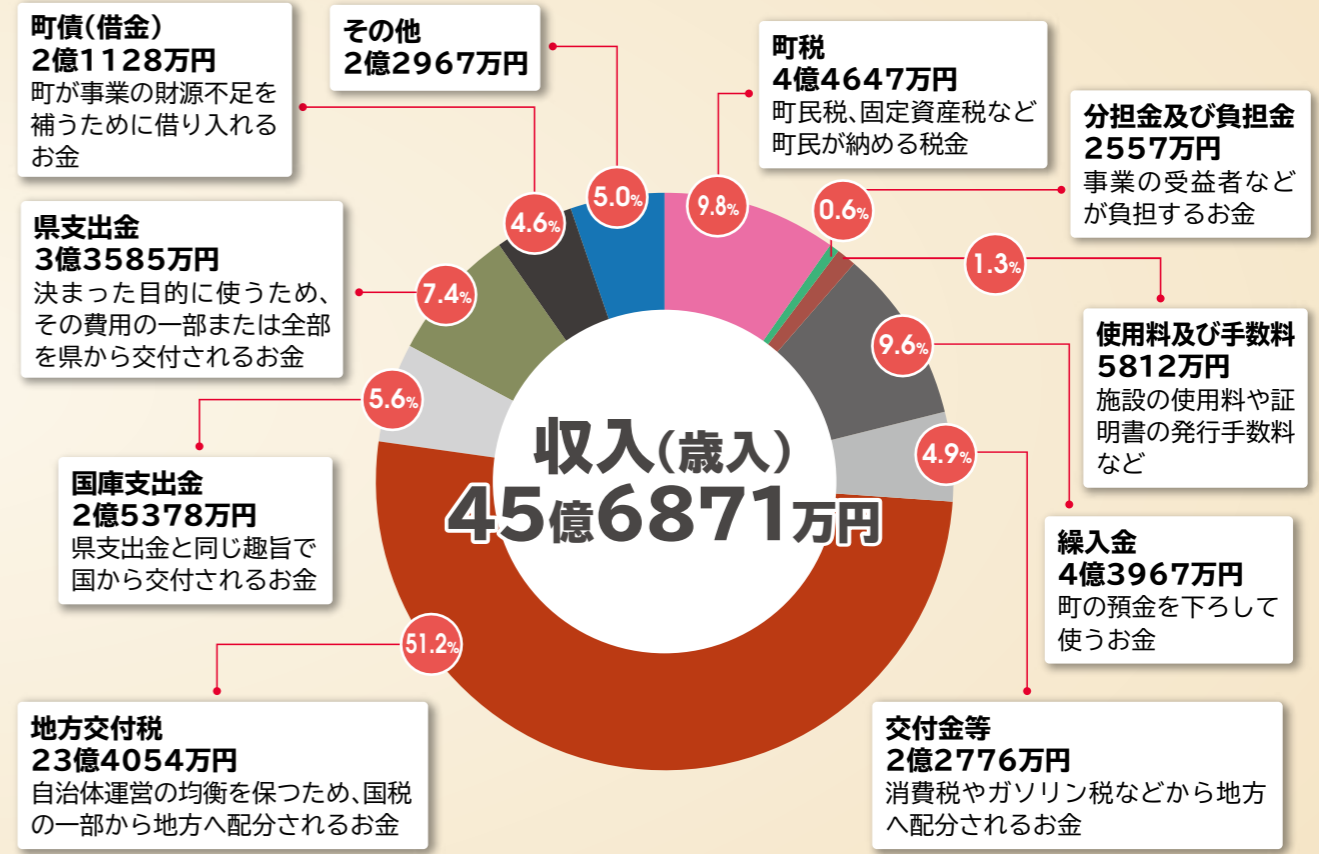
前年度比 7.7%増

一般会計当初予算

45億6871万円

3月定例会は、10日から15日までの会期で開かれ、5年度各会計予算、4年度各会計補正予算、個人情報保護に関する法律施行条例の制定〔14面に関連記事〕、かわの駅キャンプ場の指定管理者の指定など27件を全員賛成で可決・承認し、人事案件1件を同意しました。

議員提案の議会の個人情報保護に関する条例〔16面に関連記事〕、畜産危機打開のための緊急対策を求める意見書〔17面に関連記事〕など3意見書を全員賛成で可決し、一般質問〔18面から〕は7人が登壇し、執行部の考えをいただきました。



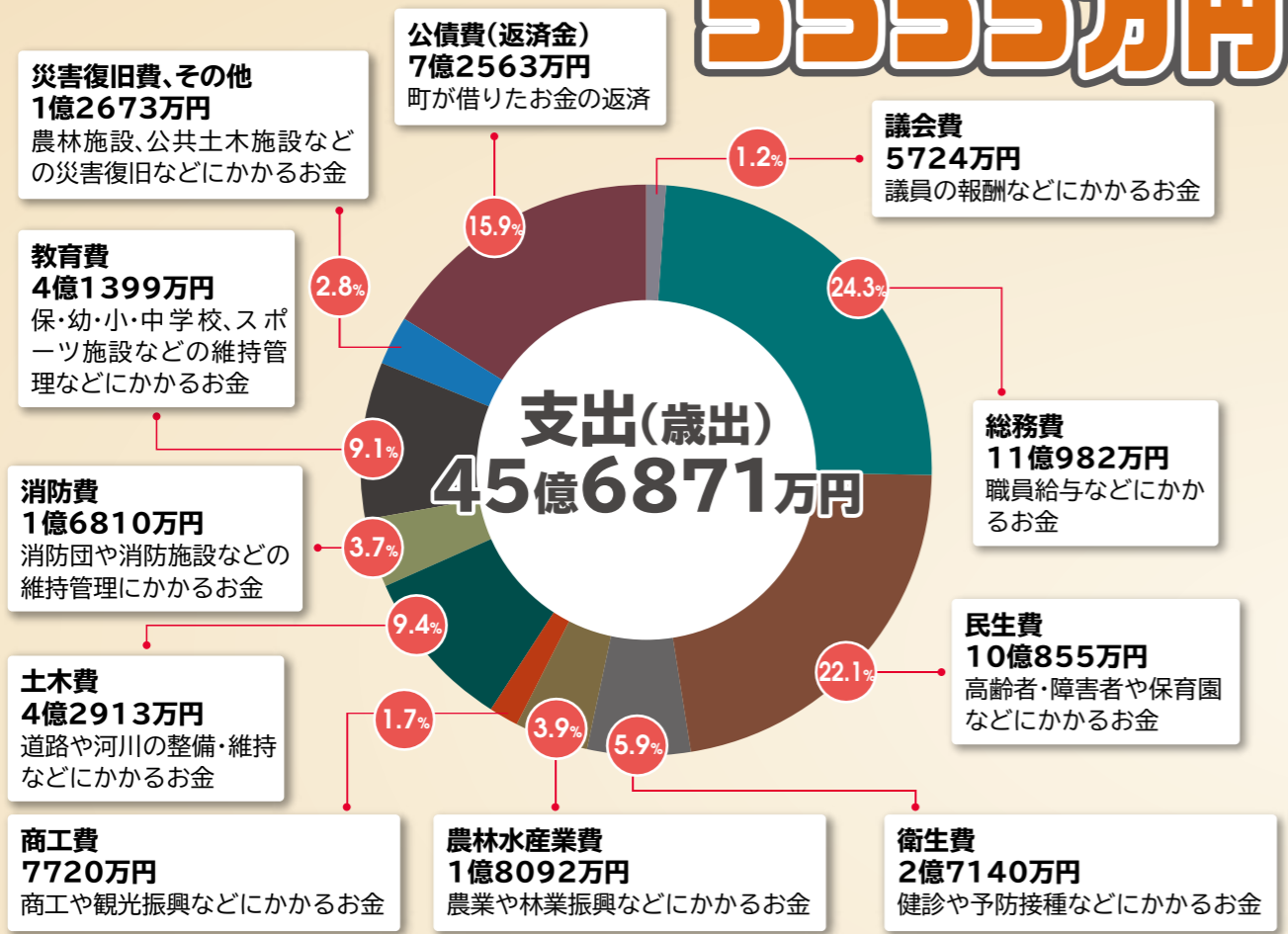
5年度各会計当初予算額

全ての会計を全会一致で可決 △はマイナス

会計区分	一般会計	特別会計							企業会計	
		下水道	国民健康保険	介護保険	後期高齢者医療	土地取得	蚕糸資料館	自然の森博物館	簡易水道	下水道
予算額	45億6871万円	0万円	7億979万円	10億6020万円	1億2385万円	1万円	26万円	2954万円	1億4552万円	4億3885万円
増減	3億2578万円	△2億6468万円	△5147万円	△4413万円	△655万円	0万円	1万円	495万円	△4176万円	4億3885万円

収入と支出を解説

佐ノ国トンネル修繕工事に5555万円



今年の予算を分析

一般会計

公債費5.3%減

人件費や公債費などの義務的経費は、20億3569万円と全体の44.5%を占める。

元金償還が4022万円、5.3%の減となった。

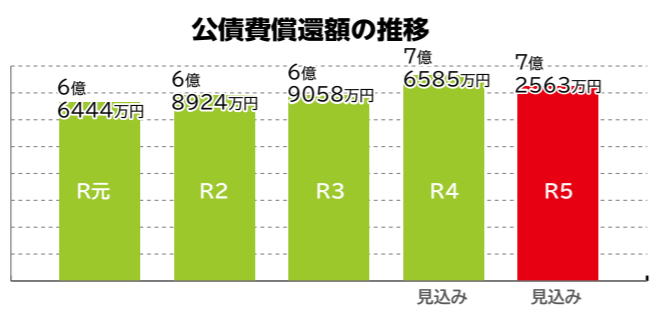
投資的経費65.1%増

普通建設事業費や災害復旧事業費の投資的経費は、3億5495万円と全体の7.8%を占める。

佐ノ国トンネル修繕工事、町民総合運動場グラウンド改修工事などで65.1%の増となった。

その他の経費47.7%

一部事務組合や各種団体への負担金、補助金や特別会計への繰入金などその他の経費は21億7807万円、全体の47.7%を占める。



企業会計

簡易水道 前年度比22.3%の減となった。

下水道 5年度から企業会計に移行となった。

今年の事業ピックアップ

5年度当初予算の中から、注目する事業を取り上げました。

山間集落の機能維持

集落支援員5人配置

1476万円



集落への「目配り」や集落の状況把握、行政とのつなぎ役などとして地域の課題解決に向けて取り組む。

会話は地域の絆

町民総合グラウンドは、経年劣化による土の流出により危険な状況となっているので黒土を補充し、安心安全に利用できる環境を整備する。また、ネットが12月の大雪でワイヤーが切れるなどの被害を受けたため取り替えなどを行う。



今年もリーグ優勝を

社会教育・生涯スポーツの振興

町民総合運動場

グラウンド改修・ネット取り替え工事

3341万円



学校で使用している学習教材

越知小中学校に在籍する児童及び生徒の保護者の経済負担を軽減し、子育て支援の充実を図り、子どもたちの健やかな成長と教育環境の整備充実を推進する。

子育て支援の充実と次世代育成

学習教材支援金

304万円

安心安全な社会基盤整備

佐ノ国トンネル修繕工事

5555万円



町道唯一のトンネル

法定点検において、損傷や劣化が確認されたため、早急な機能回復と予防的な修繕を実施し、トンネルの長寿命化を図り安全性・信頼性を確保する。

一般会計

総務課

森下 庁舎玄関舗装改修工事はアスファルト舗装なのか、それともタイルを貼る予定なのか。

井上総務課長 アスファルトでカラー舗装をする。

企画課

小田(社) イベント出店負担金394万円の内容。

大原企画課長 ふるさと納税事業、ゆるキャライベント、越知町PR事業、関係人口創出事業、地域おこし協力隊事業で、東京・大阪を中心に10件となる。

キャンペーンイベントの内容は

森下 キャンパイイベントとは、こういった行事を予定しているのか。

おち・まち・そとあそびとシーニックキヤンプを計画

大原企画課長 おち・まち・そとあそびの開催と、キヤンパーを集め、情報交換や親睦を深めていくシーニックキヤンプを計画している。

負担金の内容は

箭野 博覧会推進協議会事業負担金172万8千円の内容は。

巡回バスと舞台イベント

大原企画課長 佐川町と越知町を巡回している花*花ループバスと、ほんぼり桜まつりでの舞台イベントを企画している。

小田(社) 観光協会補助金1865万3千円の内容は。

大原企画課長 観光協会事務局費、5年度は臨時職員を1人増にして臨時職員の給与2人分と、によどかあにばる、コスモスマつり、ほんぼり桜まつりの開催費、越知町のパンフレットの作成費である。



おち・まち・そとあそび(5年3月19日)

ふるさと納税サイトを増やす効果は

武智 ふるさと納税サイトを、3サイト増やしたが、効果の有無と、また効果の無いものはどうするのか。新しく増やすサイトは成果を上げているのか。

寄付が見込まれ、プロモーション効果も

大原企画課長 契約を切ったサイトもあったが、現状の9サイトは、寄付がある程度見込めるので継続している。



ふるさと納税 春の野菜セット

新3サイトは、他市町村の成果を聞いて、寄付が望めると判断した。また新サイトの一つは大阪のテレビ会社系列が始めたもので、ふるさと納税だけでなく、シティプロモーションの効果も見込まれる。

岡林 空き家改修等補助金540万円は何件分か。

大原企画課長 2件で、空き家バンクに登録している家を契約し、改修するための補助金である。

小田(社) よコジローグッズ作成業務の事業者と内容は。

大原企画課長 RKCプロダクションに委託する。5年度は、ガチャガチャ用の木札ストラップ5百個、配布用のステッカーが3種類2千枚、トレーディングカード5千枚、うちわ4千枚を作成する予定である。

企画課・産業課

地域おこし協力隊の業務の内容は

武智 食品産業振興、農業振興、体験型観光にそれぞれ1人とあるが、内容は。

特産品の開発・リバーガイドなど

大原企画課長 食品産業振興の業務は、町のお土産となるような特産品の開発、町の特産品の販売促進とPRなどで、町内全域で活動する。体験型観光は、おち仁淀川キヤンプフィールドや、かわの駅おちを拠点としたリバーガイド・運営業務支援・イベント企画の実施・観光情報の発信など、スノーピークで勤務する。

手工芸品の開発

大原企画課長 町産材などを活用した、木育を目的とする手工芸品の開発や、体制づくりである。

武智 事業承継は何をするのか。

事業者の担い手の確保

サンショウウ栽培

田村産業課長 農業振興の業務は、サンショウウ栽培の技術習得を目的とし、ヒューマンライフ土佐で3年間栽培技術などを学び、農地を受け継ぐことが目標である。



イベントで特産品の販売をする地域おこし協力隊



かわいい♡ よコジローグッズ

危機管理課

岡林 小型動力ポンプ 262万3千円の内容は。

谷岡危機管理課長 鎌井 田の消防車に積載している小型動力ポンプの入れ替えを予定している。

【箭野】 町民会館の他、プラスチック台車を配置する指定避難所はどこか。

谷岡危機管理課長 越知 小学校、越知中学校、明治東部公民館、明治西部公民館、桐見川公民館、野老山公民館、横島西部集落活動センターの7カ所である。



入れ替え予定の小型動力ポンプ

住民課

マイナンバーカード 関連業務の内容は

【箭野】 マイナンバーカード関連業務委託料19万円の内容は。

申請サポート

西森住民課長 郵便局がマイナンバーカードの申請サポートを行っており、5年度も委託するもの。

保健福祉課

岡林 民生費の計画策定業務の内容は。

【箭野】 マイナンバーカード関連業務委託料19万円の内容は。

申請サポート

西森住民課長 郵便局がマイナンバーカードの申請サポートを行っており、5年度も委託するもの。

産業課

補助対象か

【小田(壮)】 農産物加工継続支援補助金の対象事業者は、本町で町外の方が作る場合は対象になるのか。

対象となる

田村産業課長 本町で作る人が対象となる。

建設課

武智 県道改良等工事負担金と急傾斜地崩壊対策事業負担金の説明を。

岡田建設課長 県道改良等工事負担金444万7千円は、県道伊野仁淀線の黒瀬、桐見川の局部改良、柳瀬越知線宮崎商店前交差点部分の改良工事

佐ノ国トンネル

【小田(壮)】 トンネル内の照度は。

基準に基づき

片岡建設課補佐 国などが示すトンネルの設計基準に基づき、照度設計をしている。

何戸分か

【上岡】 空き家対策総合支援事業補助金658万円は何戸分か。

10戸分

岡田建設課長 10戸分を計上している。

情報配信システムの内容は

【箭野】 情報配信システムとはどういうものか。

情報のやり取りができるシステム

小松教育次長 現在のメール配信システムと似ているが、保護者と保幼・小・中学校の間で情報のやり取りができるシステムである。

小田(壮) パソコン借

上料、Web蔵書検索システム利用料はどういうものか。

小松教育次長 図書館での図書検索用のパソコン1台の借り上げ料と、蔵書検索システム・カーリルの利用料である。

ヘルメット購入費補助金はいくらか

【箭野】 自転車通学生用ヘルメット購入費補助金は一人当たりいくらか、また小・中学校あわせて1回だけなのか。



自転車通学用ヘルメット

【箭野】 小・中学生に対して、ドリル代、副学習教材の補助が5年度から出ているが内容は。

補助の内容は

ドリルやワークブックなど

小松教育次長 学校で使用しているドリルやワークブックなど、学習教材として使用するものを対象としている。



副学習教材

上限2600円

小松教育次長 ヘルメットに係る費用の3分の2を補助、上限を2600円としている。

自転車通学ができる小学校4年生のときに購入したヘルメットが合わなくなつた場合には、中学校で再度補助する。

のものである

急傾斜地崩壊対策事業負担金は、本村地区の急傾斜地で2カ所を予定している。

【武智】 土砂災害特別警戒区域内(レッドゾーン)において、住宅を建て替えるときに必要な建築物の構造強化を行う住民に対しての補助事業である。

岡田建設課長 土砂災害特別警戒区域内(レッドゾーン)において、住宅を建て替えるときに必要な建築物の構造強化を行う住民に対しての補助事業である。

意向を伺い検討

【織田教育次長】 この給付型の奨学金は、アルプスアルパイン相談役の片岡様からの株式の配当金を積み立てて基金としている。持続可能で枯渇しないよう、4年生大学と短大でスタートして今年で3年目になる。片岡様からも幅広くという話もあつたので、意向を伺い検討をする。

多くの学生に給付できないか

【箭野】 片岡給付型奨学金を細分化して、専門学生などより多くの学生に給付ができないか。

マイナンバーカードを利用した 電子申請への対応

条例制定

情報通信技術を活用した行政手続きの推進

マイナンバーカードを利用した電子申請に対応するため、条例または規則などに基づく行政手続きについて、情報通信技術を利用する方法で行うことを可能とするため定める。

《賛成・全員》

個人情報保護

これまで地方公共団体ごとに別々であった個人情報の取り扱いに関する規定が、改正後の個人情報の保護に関する法律に一元化されることになり、令和5年4月1日から適用されることから、これまでの条例を廃止し、法で委任された事項及び条例で定めることが認められた事項を新たに定める。

《賛成・全員》

個人情報保護審査会

新たな個人情報保護条例の制定にともない、個人情報の開示などに関する行政不服審査等の諮問機関として設置が必要となる審査会の設置及び組織並びに調査審議等の手続きについて定める。

《賛成・全員》

条例の一部改正

道路構造令が一部改正され、自転車を安全かつ円滑に通行させるために自転車通行帯が規定されるとともに、町道の構造の技術的基準においても対応するため改正する。

《賛成・全員》

国民健康保険

令和5年4月1日から出産育児一時金を40万8千円から48万8千円に改正する。

《賛成・全員》

お試し住宅 利用期間変更

お試し住宅をより多くの人に利用していただくために、使用期間を最大84日以内から35日以内に改正する。

《賛成・全員》

財政調整基金の積み立て

財政運営上必要があると認める場合は予算の範囲内で積み立てることができるように改正する。

《賛成・全員》



10区お試し住宅

農業委員・農地利用最適化 推進委員の報酬増額

報酬増額

農業委員・農地利用最適化推進委員の月額報酬を増額し処遇改善をする。

《賛成・全員》

農業委員会報酬（月額）	改正後	改正前
会長	30,000円	22,000円
会長職務代理者	26,000円	18,000円
委員	24,000円	16,000円
農地利用最適化推進委員	24,000円	16,000円



農業委員会 農地パトロール

専決処分

4年度一般会計補正

除雪費用など3104万円を追加

令和4年12月23日の豪雪における除雪費用や公共施設の被害修繕費用などについて早急に対応する必要があるため、関連予算3104万円を追加補正とし、総額55億2014万円とした。



除雪・倒木撤去作業の様子

指定管理者の指定

かわの駅キャンプ場は株式会社スノーピークを、5年4月1日から10年3月31日まで引き続き指定する。

株式会社スノーピークを、5年4月1日から10年3月31日まで引き続き指定する。

質疑

小田(社) かわの駅キャンプ場指定管理の入札方法は。

大原企画課長 一般公募をしている。

《賛成・全員》



かわの駅おち



黒瀬ログハウス

黒瀬ログハウスは黒瀬報徳会を再指定

黒瀬報徳会を、5年4月1日から8年3月31日まで引き続き指定する。

《賛成・全員》

基幹集落センターは高知県農協を再指定

高知県農協を、5年4月1日から8年3月31日まで引き続き指定する。

《賛成・全員》

意見書

畜産危機打開のための緊急対策を求める

提出者 岡林学議員

今、飼料をはじめ、あらゆる生産資材、光熱費等が高騰しているにもかかわらず、生産費の上昇を乳価や畜産物価格に十分に転嫁できていない。

3月定例会に提出された3件を全会一致で可決し、関係機関に提出しました。

史上最悪の危機に直面している日本の酪農・畜産経営の窮状を打開するため、早急に施策を実施するよう強く要望する

提出先

内閣総理大臣、農林水産大臣、経済産業大臣



酪農・畜産経営の危機

インボイス制度の導入の延期を求める

提出者 市原諄子議員

新型コロナウイルス感染症の影響で、中小事業者が経営難に苦しみつつも事業継続、雇用維持に懸命に取り組んでいる中、インボイス制度の導入によりさらなる負担が課されることになる。中小事業者や個人事業主の事業存続と再生、ひいては日本経済振興のため、インボイス制度の導入の延期を強く求めるものである。

提出先

内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣

食品衛生法改正に伴う直販所等の窮状を理解し、法の見直しを求める

提出者 武智龍議員

食品衛生法の改正によって、これまで地域に根付いた伝統の味である漬物等加工品を製造販売してきた生産者や直販店、伝統的な街路市等が窮地に立たされている。小規模な事業者には柔軟な対応が必要であり、よって、国に対し食品衛生法の見直しを求める。

提出先

参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、財務大臣

人事

教育委員の任命(再任)

古味由希氏(越知甲)



任期は、9年3月31日まで

《賛成・全員》

条例制定

議員発議

発議者 小田範博議員

個人情報保護

国において社会のデジタル化に対応した個人情報保護等の課題に対応するため、全国的な共通ルールを法律で制定することとなり、越知町を含む団体の個人情報保護制度について法の適用を受けることとなるが、議会については、適用外となっている。

これまでと同様に議会における個人情報保護するため、議会独自の条例の制定が必要不可欠であることから、越知町議会において、個人情報保護に関する条例を制定するものである。

《賛成・全員》

4年度一般会計 52億287万円

4年度一般会計予算は、事業執行見込みにより3億1726万円を減額補正して、総額を52億287万円としました。

《全員賛成・可決》

4年度補正予算

会計名	補正額	総額	
一般会計	△ 3億1726万円	52億287万円	
特別会計	下水道	△ 246万円	2億6921万円
	国民健康保険	1527万円	7億8431万円
	介護保険	△ 8041万円	10億7851万円
	後期高齢者医療	162万円	1億2076万円
	自然の森博物館	△ 476万円	8952万円

ズバリ!! 町政を問う

3月定例会は7人が一般質問を行いました。発言内容は紙面の都合で要約していますが、ぜひ議場に足を運んでいただき、白熱した議論を傍聴してください。
なお、全文を記載した会議録は、議会事務局と町のホームページ (<http://www.town.ochiigi.jp>) でご覧下さい。

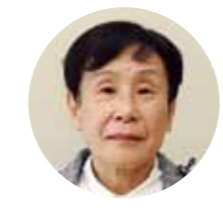
一般質問とは
議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などに方針を問うものです。

森下保志・・・ 19ページ



- ① 県道伊野仁淀線
 - ・ 黒瀬～片岡区間の進捗状況は
 - ・ 舗装はいつになるか
- ② 道路行政
 - ・ 町道西ノ芝4号線の進捗状況は
 - ・ 町道役場久万目線の擁壁にひび

上岡千世子・・・ 20ページ



- ① 林業行政
 - ・ 間伐を中心とした環境型里山づくりを
 - ・ 草木や竹の伐採を
- ② 農業行政
 - ・ 離農しなくて済む施策を考えているか

山橋正男・・・ 21ページ



- ① 新型コロナウイルス
 - ・ 庁舎内での職員のマスク着用は
- ② 少子化対策
 - ・ どのような支援があるか
- ③ 県道18号
 - ・ 現道の改修工事などを要望しては

武智 龍・・・ 22ページ



- ① 人口問題
 - ・ 移住者獲得競争は激化する
- ② 観光政策
 - ・ 民間と協働せよ
- ③ 基幹産業振興対策
 - ・ サンショウの人手対策は

市原静子・・・ 23ページ



- ① 子育て支援
 - ・ 医療費助成を18歳まで引き上げる考えは
 - ・ 冷却タオルその後は
- ② 移動スーパー
 - ・ 長く継続するための補助支援は

小田壮一・・・ 24ページ



- ① デジタル田園都市国家構想
 - ・ デジタル専門の人材の確保は
- ② 町営住宅
 - ・ 子育て世帯優先的入居制度を
- ③ 博物館
 - ・ 魅力ある観光資源としての取り組みを

箭野久美・・・ 25ページ



- ① 自転車運転ヘルメット着用
 - ・ 高齢者に対して購入補助金を
- ② マイナンバーカード
 - ・ 交付率は
- ③ 少子高齢化
 - ・ 限界集落はいくつか

県道伊野仁淀線

黒瀬～片岡区間の進捗状況は

片岡バイパス事業は、実現可能なルートを再検討 建設課長



側溝工事については、側溝部分が道路敷地と確認できれば、側溝工事と同時発注する予定である。

問 黒瀬～片岡区間の進捗状況は。
岡田建設課長 この区間は、相続人多数や未登記地が点在している。また、表題登記のない白地や共有地、境内地が存在することにより用地買収が困難な状況である。現在は、実現可能なルートを再検討している。舗装はいつになるか
問 この未改良区間の現道舗装を修繕している。残りの舗装工事は、いつになるのか。
併せて、側溝の改修工事の同時発注は。
5年度中に発注予定
岡田建設課長 片岡地区における2車線道路までの延長200mの区間の舗装修繕工事は、5年度中に発注予定。



片岡から南片岡を望む

詳細な測量を行う
井上総務課長 相続人からの全筆購入の意向を受け、道路用地以外の活用を検討している。

問 黒瀬～片岡区間のトンネルの発注は要望は。
問 現道未改良区間の待避所整備工事の要望は。
待避所設置を要望
小田町長 黒瀬～片岡間の計画が見直しされることは、非常に残念である。待避所設置を、県には前向きに検討してもらいたいので、要望する。
問 片岡～鎌井田間のトンネル工事の発注は、いつ頃と予定されているか。
また、残土処理場の準備等は、進んでいるか。
岡田建設課長 5年度中には、トンネルの詳細設計、用地測量調査を行う予定であると聞いている。残土場は、町と県とで協議をしている。

2年度には、道路用地のみの交渉を進めていたが、共有地相続人の要望により全筆一括購入の必要性が出たため、検討中である。

一括購入を検討中
岡田建設課長 道路拡幅工事は、改良区間の概略設計、道路計画の素案作り、共有地の不動産鑑定を完了している。
問 町道西ノ芝4号線の進捗状況は。
拡幅工事と共有地問題の進捗状況は。
問 町道役場久万目線の擁壁にひび
問 町道役場久万目線沿い、保育園前の桜の木の影響で擁壁にひびが入っている。
この擁壁の補強工事、または、桜の木伐採の考えは。
補修工事を行う
岡田建設課長 擁壁の現地調査を行い、ひび割れを確認したが、現時点では、倒壊の恐れは低いと考える。
補修工事を早急に行い、今後も定期的に観察し、危険性が高まれば、擁壁の改修工事を検討する。

道路行政



上岡千世子 議員

林業行政

間伐を中心とした循環型里山づくりを

間伐や作業道の開設を積み重ねていく 建設課長



急傾斜地での間伐

問 県は皆伐する山林を対象に、植林再生を促進するため補助金を出すと報じているが、崩壊危険区域では、皆伐は困難である。

このような区域では、間伐を中心とした循環型里山づくりをすることが大事であると思うが、本町の考えは。

岡田建設課長 本町のよ
うな崩壊地、急傾斜地のある地形では、間伐による里山づくりが中心となつている。

現在、荒廃した山林の手入れのため、林業事業体や自伐型林業家に補助金を交付して、間伐や作業道の開設を進めている。

この取り組みの積み重ねにより、水源涵養、木材生産、森林保全など、森林が本来持つ機能の維持推進につなげていく。

草木や竹の伐採を

問 県道や町道沿いを流れる仁淀ブルーを生かすために、草木や竹を伐採する必要があると思うが、町の考えは。

対応可能な範囲を見極め判断

岡田建設課長 山林の管理は所有者が行うべきなので、行政として対応可能な範囲を見極め、判断する。

道路沿いからさらに山側、谷側へ範囲が広がる間伐や支障木の伐採になると、対象地域の意向調査が必要となり、山林所有者から、経営管理権を町に委ねてもらうことが近道と考える。

現在も、意向調査は進行中である。国道や県道についても、管理者である国や県に対し、可能な限りの対応を要請したいと考えている。

農業行政

農業再生協議会を

設置し情報収集

問 本町は、肥料代高騰にあたり、いち早く給付金を支給したが、さらなる物価高騰により、離農を考える農家があると聞く。離農しなくて済むような施策を考えているか。

田村産業課長 本町では、

県、農業委員会、農業団体と連携し、地域農業の振興と農地の利用集積、耕作放棄地の再生利用、担い手育成を目的とした農業再生協議会を3年度に設置し、定期的に情報収集を行っている。

その結果、農業用肥料高騰事業や、減収部分の所得補償など支援につなげてきた。

今後も一層の情報共有をし、離農しなくても済むような政策につなげていきたい。



農業再生協議会

新型コロナウイルス

庁舎内での職員のマスク着用は

勤務中は着用 総務課長



庁舎2階の日常

問 国は3月13日からマスク着用は個人の判断に委ねるとしているが、庁舎内での職員の着用はどうするのか。

井上総務課長 国の指針により事業者が感染対策上もしくは事業上の理由により、従業員にマスク着用を求めることは容認されている。

住民と接する窓口業務等もあるので、当面の間、職員は勤務中マスク着用とすることで庁内統一としている。

指針は

問 保幼小中の園児児童・生徒のマスク着用は自己判断が難しいと思う。着ける者と着けない者がいると、いじめなどの問題を心配するが、国の指針は。

4月1日から着用は求めない

小松教育次長 児童・生徒のマスク着用は、3月31日までは着用方針を継続し、4月1日から着用は求めない。

新学期からのマスク着

少子化対策

どのような支援があるか

出産子育て応援交付金など 保健福祉課長

問 少子化対策として赤ちゃん誕生、妊産婦に対してどのような支援事業があるか。

國貞保健福祉課長 赤ちゃん誕生時には、木のおもちゃをプレゼント。社協からは新生児訪問時に出産祝い金5千円だったが、5年度から1万円に引き上げる。

出産育児一時金については、国保など健康保険に加入している人には42万円支給だったが5年度から50万円に引き上げが決定している。

妊婦は、妊婦一般健診が無料になる受診券を14枚発行。出産後、2週目と4週目に受ける産婦健診も無料。4年度に出産子育て応援交付金ができ、妊娠届出時に5万円、出生届出時に5万円給付する。既に4月1日以降に出産している方には一括支給する。

県道18号

現道の改修工事などを要望しては

問 県道18号の待避所は議会と行政が協力してできた。

日ノ瀬、片岡、片岡、黒瀬、パイパスの計画については工事がいつ始まるか分からない。

住民も望んでいる現道の改修・改良・待避所工事などを要望してはどうか。

待避所等の対応を

小田町長 用地等が頓挫したことを中央西土木事務所越知事務所も認識している。

地域住民から現道の改修等を望む声が多いので、要望する必要があると考える。

実情を土木事務所に確認を取ったうえで、現道の待避所等について対応をお願いする。



武智龍 議員

出生者の予測は

出生者が80万人割れするのは想定よりも10年早く進行しているが、本町の2030年と2045年の出生者の予測は、5歳刻みで予測

移住希望者は有限

少子化に歯止めをかけるには、1990年代生まれの結婚や出産が正念場と言われており、この人たちの定住や移住促進が必要だ。

補助金を研究する

子育て世帯に定住していただくことは非常に重要なことであり、補助金を研究したい。

観光政策

民間と協働せよ 牧野博士の朝ドラ放送が近づき、横倉山を訪れる観光客が増加しており、食事など経済的な効果が期待できる。

基幹産業振興対策

売や、商店街など町内を周遊する仕掛けをして、経済効果を高めたい。

新規参入者確保は

最大の取引先である株式会社ツムラから、今の2倍に相当するサンショウの出荷を求められているが、出荷量拡大は難しい状況にある。

方向性を定めたい

退職された人に帰ってきてもらって継承していただくことが重要ではないかと考えており、9月頃には具体策の方向性を定めたい。

人口問題

移住者獲得競争は激化する

子育て世代の定住補助金を研究 町長



もっと友だちが増えたらいいな

町内の事業者などと協働した取り組みが重要と思うが。

商工業者など出店を

町外から多くの人を訪れるこのチャンスを町経済に結びつけるため、企画課を中心に観光協会や商工会と連携していく。

かわの駅で土日祝日に商工会青年部・女性部、町内事業者による屋台販

サンショウの人手対策は

サンショウは町の奨励品目であるので何らかの手だてを考えるとのことだったが、対応策は。

のれん分け方式で

課題解決策として、地域おこし協力隊が町内で栽培技術等を研修し、卒業後に農地を受け継ぐ「のれん分け方式」を考えている。

子育て支援

医療費助成を18歳まで引き上げる考えは

18歳になる年の年度末までに対象者を引き上げる 町長



授業を受ける佐川高校生

問 2014年から4年度目の質問だが、子育て家庭の経済的負担は大きくコロナ禍においてますます厳しくなっている。

子ども医療費助成を現行の15歳から、18歳にする年の年度末までに引き上げる考えは。

小田町長

近年の物価高騰における経済的負担が大きく、子育て家庭以外の人も含め、多くの影響を及ぼしていると考えます。本町は財政的には非常に厳しいが、県内市町村の実施状況を勘案し、乳幼児医療費助成の対象を18歳にする年の年度末まで引き上げる。

冷却タオルその後は

異常気象が続いており、今年も想像以上に暑い日が続くと予想される。児童・生徒の下校時の熱中症予防対策のため、首元を冷やす「冷却タオル」がある。

2年9月議会で質問をしたが、「3年度以降に検討したい」との答弁であったが、その後どのようなになっているか。

6月補正予算で対応を検討する

織田教育長 冷却タオルを児童・生徒に無償配布した全国の教育委員会事務局の数力所を確認した。熱中症予防効果は一定あり、特に事故やクレーム

移動スーパー

長く継続するための補助支援は

対策を研究していきたい 産業課長

移動スーパーは、様々な理由で利用され、大変喜ばれている。商品を売るだけでなく高年齢の見守りや、安否確認をし、地域になくはならない存在である。長く継続していただくためのガソリン代などの補助支援の考えは。

田村産業課長

県と市町村は、中山間地域における地域住民の生活を支える生活用品確保等支援事業として補助を行っている。車両の購入、更新、備品購入、利用促進のため移動販売事業を継続していただくためのものである。中山間地域における移動販売研究会で、燃料費対策は研究していきたい。



小田壯一 議員

問 今後の行政デジタル化推進にあたり専門知識を有した人材確保が不可欠と考えるが、どのように取り組むのか。

井上総務課長 各部署において、デジタル化を念頭に置いた政策が必要になってくると思われる。そのため、それぞれの職員が所属や役職に応じて知識や能力を身に付ける必要があると考える。

デジタル田園都市国家構想

デジタル専門の人材の確保は

職員が知識や能力を身に付ける **総務課長**

今後は、国が創設する新制度も有効に活用しながら、管理職も含めた人材育成や、会計年度任用職員などの採用に関しても考えていく。



庁舎内電算室

問 マイナンバーカードの申請率及び70%達成時期は。

西森住民課長 申請率は2月28日時点59・73%、70%達成時期は、明言できない。

問 マイナ保険証に加え、介護保険証など一つのカードで使えれば住民サービスの向上につながると考えるが。

議員保健福祉課長 現在国が全国医療情報プラットフォームを構築中であり、国の動向を見ながら迅速に対応していきたい。

町営住宅



再利用を望まれる住宅跡

子育て世帯が優先的に入居できる制度を

問 国は、子育て世帯が公営住宅に優先的に入居できる取り組みを拡大する方針を決めたが、本町も制度を検討すべきでは。

井上総務課長 現在の制度では困難だが、国が仕組みを検討するといった情報は得ているので、今後は情報を収集しつつ対応を検討していく。

政策空き家有効活用

問 政策空き家及び取壊し跡地を有効活用していく計画は。

井上総務課長 政策空き家は、財政上の負担を平準化しつつ、危険な建物等から取り壊している状況である。有効活用が可能な一団の土地になったときに、子育て世代の定住対策も考慮しながら検討していく。

博物館

魅力ある観光資源としての取り組みを

問 「らんまん博」がすぎても、従来の博物館の役割に加えて、魅力ある観光資源としての取り組みを更に強化すべきでは。

連携を強めて

小松教育次長 体験型観光推進の取り組みとして、博物館のさらなる活用に取り組んでいる。今後も町観光部局や観光協会、商工会と連携を強め持続可能な観光資源活用に取り組んでいく。

問 来館者が、景色を眺めながら休めるような場所などを作るべきでは。

小松教育次長 今後の対策として、ゆつくりと景観を楽しめる環境整備を検討していきたい。

自転車運転車ヘルメット着用

高齢者に対して購入補助金を

計画はないが、動向を確認

危機管理課長



ヘルメットで命を守る

である。ヘルメット購入に補助金を、特に高齢者に対して出す考えは。

谷岡危機管理課長 小中学生の自転車通学者にはヘルメット購入補助を行っている。

高齢者への新たな補助金については目的、対象効果などの検討が必要であり、公平性も考えなくてはならない。

現在計画はないが、高吾北3町や他の自治体の動向も確認していきたいと考えている。

啓発が必要

問 広報3月号にヘルメットが努力義務化されることは載っていたが、ヘルメット着用だけでなく、安

マイナンバーカード

交付率は

51.8% 住民課長

問 マイナンバーカードは全国では申請率が70%超え、交付率は60%超えであるが、本町の交付率は。

全運転に関してもさらなる啓発が必要と考えるが、今後の活動は。

谷岡危機管理課長 交通安全協会佐川支部越知分会、佐川警察署、高吾北交通安全指導員協議会と連携を取り、行事などの検討も含め啓発を進めていきたいと考えている。

戸別訪問は可能か

問 量販店出張など今後にも新たに申請率を上げる対策を考えているようであるが、独居で身動きの不自由な人への戸別訪問などは可能か。

考えていない

西森住民課長 戸別訪問での出張申請受付は、行っている自治体もあるが、当町ではまだ考えていないので、今回行う近くの集会所で申請していただくかと思っている。

少子高齢化

限界集落はいくつ

問 本町の63集落のうち限界集落は幾つあるか。

限界集落 過疎化や少子・高齢化が進み、人口の50%以上が65歳以上の高齢者となった集落

安心して生活できることが第一

小田町長 今住まわれている人たちが安心して生活できるということが第一である。元気に生活していただくための支援を今後も行っていく。

町長の考えは

問 限界集落に対する町長の考えを聞く。

井上総務課長 4年3月31日現在の住民基本台帳のデータによると、63行政区のうち37地区がこれに当たる。

37地区

総務教育常任委員会（委員長・市原静子、副委員長・武智龍）5人は1月27日に所管事務調査を行い、調査結果を取りまとめ3月定例会で報告しました。



総務課

町営住宅の管理状況

大規模修繕検討を



修繕の進む小舟団地



物件1 (床の剥がれ)



物件2 (修繕後)

小舟団地の入居者が退去した後の修繕前と後の物件をそれぞれ調査した。修繕前の物件は、経年使用によるキッチン汚れ、トイレの床の剥がれ、クロスの破れなどが見られた。修繕後の物件は、水回りなどを中心にきれいに修繕がなされ、快適で過ごしやすい物件に仕上がっていた。階段部分に手すりが増設されていないことや鉄の部分にさびがきている箇所も見られるので、手すりの設置や塗り直しを検討されたい。また、4階の部屋は長期間空き部屋となっており、4階でも入居したいと思うような差別化を検討されたい。建物全体の老朽化が進んでおり、安全で安心して快適な生活ができるように、長期的な計画を立て、大規模修繕なども含めて検討することを望む。

危機管理課

備蓄倉庫の備蓄状況

引き続き計画的な備蓄を



備蓄品でほぼいっぱいとなっている

計画的に備蓄が進められており、適正に管理されている。また、パレットを導入して、備蓄品を備蓄倉庫から避難所5カ所に配置する計画とのことであり、引き続き、計画的な備蓄を進めてもらいたい。

10区児童公園園路新設工事

袋道であっても計画的な整備を

公園に通ずる幅員4メートルの町道は、新設工事中であった。完成すれば、袋道ではあるが、生活環境の改善につながり、防火、防災、減災にも役立つ。定住促進のために、人が住み続けられるための環境づくりが必要であり、今後とも計画的に整備を進めてもらいたい。

中学校

中学校図書室及びタブレット活用状況

読書に力を入れている



今や必需品

中学校図書室は、基準冊数6080冊に対して蔵書冊数6945冊と達成率は114%となっている。室内は明るく、広く、枠で区切ったスペース、座って読めるスペースなどが確保され、活用しやすい工夫がされている。また、感想文を紹介し、本を推薦する取り組みも

行っており、読書に力を入れている。タブレットの活用状況は、1年生は総合学習の発表に向けて、3、4人のグループで情報共有しながらまとめ作業をしていた。小学校から使い始めて3年目になるだけあって、文房具のような使い方ができおり、活用方法について評価できる。

小学校学習発表会

タブレットの有効活用ができている

少人数で小学5・6年生による学習発表会を見学した。小学校においてもタブレットの有効活用ができている。4年度の重点取り組みに上げている総合的な学習の時間が充実しており、国際理解の取り組みができています。グローバル社会での生きる力が育まれているといえる。



タブレットを用いてグループで発表



公園までの町道のルート、幅員、支障木などの説明を受ける

産業建設常任委員会(委員長・岡林学、副委員長・上岡千世子)5人は、2月3日に所管事務調査を行い、調査結果を取りまとめ3月定例会で報告しました。



建設課 林道横倉長者線災害復旧工事

側溝の重点点検の実施を

山手側からの大きな崩落は、側溝が詰まり路側を洗掘したことによるものである。
職員による巡回パトロールはされているが、側溝の重点点検を実施され

たい。
山手側の法面を切った後に広場ができています。水路にグレーチングを掛ける計画とのことであり、待避所にもなるので、安全管理を考え、舗装することを検討されたい。
また、仮設道を補助対象事業とするために、国との協議に不測の日数を要しているが、最終的に認定され財源の確保がされている。



復旧で安心、安全になった林道



林道全体としては、道路補修が必要と思われる箇所が所々に見受けられるので、道路補修の検討をされたい。

建設課 町道大樽線 改良交付金工事

水の確保が今後の課題である

大樽の滝駐車場へと通ずる町道であるが、幅員が3mと通行に支障を来している。
幅員が1メートル広がり4m道路が完成すれば、普通車の行き違いができるようになり利便性が大幅に向上する。
また、山手側上部に転石を確認したが、安全対策として、ロープネット工(落石防護工)を掛ける予定とのことであり、安全性が保たれる。日本の滝100選に選ばれた大樽の滝への観光ルートであり、できるだけ早く完成することを望む。



道路が広がり運転が楽

建設課 町道横倉線防災・安全 対策交付金工事

早急な完成が望まれる

3工事のうち1工事区間が完成し、舗装止めとU型側溝、舗装工事が行われ見違えるようになった。残る2工事は、工期が4月まで延期となる見通しとのことであるが、3月25日に開幕を迎える

「らんまん博」を契機に観光客が増え、交通量が多くなることが予想されるので、早急な完成が望まれる。また、路面の真上まで木が覆っており、支障木は伐採を検討されたい。



おもてなしが進む町道

環境水道課 簡易水道(片岡地区) 浄水場整備工事

安全・安心な飲料水の供給ができる

給水人口47人、給水戸数32戸。本工事において、0.01ミクロンまでの物質の除去を可能とする膜ろ過装置を設置され、クリプトスポリジウム汚染リスクを排除する対策が図られている。整備工事が完了し、安全・安心な飲料水の供給ができるようになった。
水道事業は大変重要であり、どの地区においても、飲料水の供給が安定的にできるように努めてもらいたい。



安全な水を確保する膜ろ過装置

企画課 横倉山第1駐車場 公衆トイレ新築工事

水の確保が今後の課題である



完成間近

木造1階建ての男女トイレ、多目的トイレを建築中であり、多目的トイレには、おむつ交換台などの設置が予定され、おもてなしの配慮がされている。
今後、多くの観光客が訪れることが予想される。

冬場の水の少ない時期には車で水を運搬する計画とのことであるが、対応が追いつかないことが想定される。定期的な清掃と凍結時の対応などを含め、水の確保が今後の課題である。

あれはどうなっちゅうが？

食品衛生法の改正

Q 営業許可制度

森下議員（3年6月）
営業許可制度の見直しの内容は。

A 6種類が新設された

田村産業課長 3年6月1日から許可業者の見直しが行われ、複合型総菜・漬物製造業、食品の小分け業等の6種類が新設され、営業許可が必要となった。

Q 営業届け出制度

森下議員
営業届け出制度の見直し内容は。

A 食品衛生責任者の設置

田村産業課長 3年6月1日から営業許可及び届け出対象外の製造加工、販売等を行う全ての業種が届け出の対象になり、3年11月30日までに中央西福祉保健所に届け出を行うことになる。
要届け出業種も食品衛生責任者の設置と、ハサップの取り組みが必要になる。

Q 法改正の受け止めは

武智議員（4年12月）
おち駅に出荷している生産者は、食品衛生法改正をどのように受け止めているのか。

A 継続は難しい

田村産業課長 味が変わる、手間がかかる、制度が難しいので出荷をやめる、今後継続や新たな投資は難しいとの声がある。

Q 支援策は

武智議員
出荷者の収入が減ると消費が減り地域経済が縮む。耕作放棄地増加等で環境が悪化し人口減少が加速するので迅速な対応が必要だ。
支援策を検討しているのか。

新規参入を視野に検討

田村産業課長 厳しい衛生管理が必要となり、さらに減少すると思われる。事業継承や新規参入しやすい制度を検討したい。



農家の漬物が店から消える？

処理状況

5年4月要綱制定
食品衛生法の改正に伴い、漬物製造業など農産物等の加工に取り組もうとする者が新たに営業許可を取得するために必要な機器購入及び施設整備に要する経費を支援する。
補助対象事業費は50万円以内。補助率は3分の2以内
5年度当初予算で150万円を計上。

広域議会

第1回定例会が、3月1日に開かれ、5年度各会計予算、4年度補正予算、高吾北衛生センターで発生した公金紛失における公金管理監督責任により、組合長及び副組合長の報酬を1カ月間支給停止とする特例の条例改正など13件を全会一致で可決しました。

●清掃センター
ごみ処理量は、6431トン、前年同時期と比較して1244トンの減となった。マッドレス116枚・ソファ1267台が搬入され処理を行った。

●衛生センター
衛生センターの処理総量は、4月から1月末まで1万2812kLで、前年の同時期と比較して30kLの減となった。

●各施設の運営状況

・消防署
令和4年の救急出動が消防署発足以来過去最高の1517件で前年より265件増加した。搬送人員も1517人と前年より263人増加した。救助出動は前年より10

会計名	予算額	前年度比	
一般会計	9億5001万円	626万円	
特別会計	特別養護老人ホーム	10億8182万円	△1億4539万円
	養護老人ホーム	1億600万円	△6458万円
	障害者支援施設	2億3367万円	5493万円
	ふるさと市町村圏	485万円	4万円
合計	23億7635万円	△1億4874万円	

5年度予算

（全員賛成・可決）



高吾北清掃センター

一般質問

箭野久美 議員（越知町）

指針の整備は

問 特別養護老人ホームにおける感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための指針が整備されているか、またおむつ交換時における使い捨て手袋の使用後の交換をどのように指導しているのか。

各施設長 指針とマニュアルを整備し感染対策を行っている。手袋をおむつの交換のたびに捨てて次の方のときには新しい手袋を使っている。